



香南市商工会 会報

発行年月日:平成29年11月22日

発行者:香南市商工会

住所:香南市赤岡町691-2

TEL 54-3014 fax 54-4497

- ・新春講演会・賀詞交歓会のご案内
- ・会員交流会の報告
- ・役職員視察研修の報告 など

平成30年
新春講演会・
賀詞交歓会のご案内

日時

平成30年1月11日(木)

○新春講演会

午後6時30分～

○賀詞交歓会

(講演会終了後)
午後7時頃～

場所

・一寿司会館

香南市香我美町岸本

99681

新春講演会(聴講無料)

・講師

高知県事業引継ぎ支援セン

ター

統括責任者 山本正孝 様

・テーマ

『2018年新たな事業承
継の幕明け!』

会費

賀詞交歓会 4000円

申込方法

別紙の参加申込用紙に必要な
事項をご記入の上、商工会
までFAX(088754
4497)もしくはご持参
にてお願いいたします。

申込締切り

平成29年12月22日(金)

リゾートホテル海辺の果樹
園で会員交流会が盛大に開
催されました!

10月16日(月)、会員企
業様や従業員・ご家族合わせ
て90名ほどの方々にご参加
いただきました。メインイベ
ントでは青年部主催による多
彩なクイズが展開され、テー
ブルごとの代表選手対抗珍問
クイズで会場は笑いの渦で盛
り上がり、多くの皆さま方に
楽しんでいただきました。

また、最後に会員・商工会
役員の景品提供によるお楽し
み抽選会や恒例のリゾートホ



テル海辺の果樹園ペア宿泊券、
現金1万円争奪じゃんけん大
会で大いに盛り上がりました。
今年ご参加出来なかつた会員
の皆さまも来年はぜひ参加し
てみてはいかがでしょうか。

商工会からのお知らせ

職員人事異動

平成29年10月1日付で高知県商工会連合会の経営指導員研修生1名が着任しましたのでお知らせいたします。

☆ごあいさつ☆

10月から県連より出向してきました野久保達也(のくぼたつや)と申します。研修生という立場ですが、会員の皆さまの役に立てるよう一生懸命努めて参りますので、何卒よろしくお願いいたします。



青年部

図書寄贈の報告

青年部では毎年11月に小学校への図書寄贈を行っています。今年度も、香南市内9つの小学校に希望図書調査を行い、計54冊の図書を寄贈することができました。

夏季事業での収益の一部を本事業に充てており、今後とも地域に根差す商工会青年部として地域貢献を続けていきたいと思っています。



女性部

「クリスマスカラオケ祭り」のお知らせ

女性部初企画のクリスマスカラオケ祭りを開催することになりました。

テーブル・イス席から、ゆっくりご覧いただけますので、皆様お誘いあわせの上ご観覧くださいませようご案内いたします。また、女性部員の「うまいもの出店」もあります。(お寿司・スイーツなど)

日時

平成29年12月17日(日)
午前10時～午後4時頃まで

場所

赤岡町弁天座

内容

出演者が自慢の美声を披露してくれます!

入場料

観覧無料



青年部員、女性部員 募集中!!

青年部と女性部は、年間を通して研修会への参加、美化・清掃活動、地域イベントへの協力・出店など、様々な活動をしています。

一緒に青年部、女性部の活動をしてみませんか!
新入部員さんをお待ちしております!

高知県で働くすべての方へ。
意識したこと 最低賃金
高知県 これまでの最低賃金 715 円
737 円 (時間給)
【発効日】
平成29年10月13日
からやきね。
必ずチェック最低賃金! 使用者も、労働者も。
高知労働局・労働基準監督署

役員視察研修の報告

9月24日(日)から26日(火)に役員15名が、熊本県阿蘇市一の宮門前町商店街、阿蘇市商工会一の宮支所、大分県別府市のオムロン太陽(株)等を視察研修しましたので、その概要を報告いたします。

① 阿蘇神社及び一の宮門前町商店街の視察研修

一の宮門前町商店街

一の宮門前町商店街は、全長約250メートルの通りに、飲食店や喫茶店、雑貨店など約30のお店が軒を連ねる商店街です。商店街には地下水が豊富に流れ出ており、店先に趣のある水飲み場「水基(みずき)」を作り、商店街のシンボルとなっているほか、通りに畳を敷いて自由に花見をする『お座敷商店街』、阿蘇神社の境内を使った『蚤の市』など、イベントを中心とした集客の取り組みにより、震災前には年間35万人近い人が商店街を訪れる成功事例として注目されている。

今回の視察では、同商店街で郷土料理店「阿蘇はなびし」を経営する宮本博史さん(元全青連会長)から、阿蘇神社の被災状況や商店街の取り組み、復興状況について説明いただいた。

熊本地震の被災状況

昨年の熊本地震では、楼門と拝殿が倒壊し神様をお祀りする三つの神殿も大きな被害を受け、現在、修復工事が行われている。

一の宮門前町商店街では人的被害はなかったが4店が損壊し、特に、熊本市側から阿蘇市へのアクセス道路・国道57号は現在も不通区間が存在するなど、行楽に訪れる観光客は大幅に減少している。



門前町商店街の入り口

まず、阿蘇神社に参拝された方にとっては商店街の入り口に位置する時計店を見学した。この時計店は、時計修繕技術を強みと捉え、販売する古時計の比率を2割から8割に変更したとのこと。店内外からアンテナイクな雰囲気醸し出されている。この時計店は、隣接して「かわい時計屋さん」の看板でファミリー層向けの白木の時計店も経営しており、ターゲットを意識したお店づくりを展開している印象を持った。

また、空間には緑(植物)を配し、店舗前や道路わきにイスを設置し、街での滞在時間の増加を図っている。さらにイスに座ったときの目線の先に店ごとにモノトーンの統一看板を設置し、落ち着いた雰囲気が醸し出されている。看板は店名ではなく、売りたいものの、店の売りを明記しているのが特徴。

水と緑を活かした街づくり

商店街には地下水が豊富に流れ出ており、店先に趣のある水飲み場「水基(みずき)」を作り、今では「36水基」が商店街のシンボルになっている。



「若きやもん会」の取り組み

二代目店主を中心に結成した「若きやもん会」が地域性を活かした商品開発に取り組み、たのシュークリーム(お菓子工房たのや)、田舎いなり(阿蘇はなびし)、馬ロッケ(阿蘇とり宮)などの逸品が誕生した。それぞれが街、店の看板商品となり、メディアにも取り上げられ、同商店街活性化の起爆剤となっている。



復興祈願サイダー

熊本地震で甚大な被害を受けた阿蘇神社の境内や社殿の復旧を支援するため、地元の特産品企画会社が開町で汲み上げた湧き水を用いた「蛍丸サイダー」を発売し、阿蘇神社復興祈願として収益の一部を寄付する取り組みをしている。一本300円(税込、200ml)のうち100円を神社復旧のために寄付、売上げ1億円を目標とし、すでに40万本が売れたとのこと。



阿蘇市商工会青年部

青年部員から「熊本地震以降、復興よさこいイベント、阿蘇市民復興祭りなどで商工会青年部として何が出来たのかを模索しながら、取り組みを行ってきた。特に、地域で被災された方のことを考えると、何かしなくてはいけないという気持ちと、自粛する必要があるのではないかと、いう気持ちのなかで心が揺れた。また、道路が使えないため、支援物資の受け入れ体制を整えるのが大変だった。」との震災後の説明があった。

こうした商品が商店街の魅力アップにつながることに加え、これまで自然災害で観光客の減少がたびたび起こってきたことに対処するために、ものづくり、商品開発に力を入れていくとのことであり、その方針が強く印象に残った。

2 阿蘇市商工会一の宮支所での研修



お礼を述べる山地会長



阿蘇市商工会

阿蘇市商工会 総務課課長、経営指導員から、震災後の経営支援体制の説明を受けた。

「4名の経営指導員が中心となり、熊本県、阿蘇市、熊本県信用保証協会、日本政策金融公庫国民生活事業熊本支店等とともに、中小企業ワンストップ特別相談会を2か月半で計20回実施し、194件の相談を受けた。また、中小企業等グループ施設等復旧整備補助金27社、小規模持続化補助金107社への支援は商工会職員一丸となり身を粉にして支援した。」

あらためて、日頃からこうした支援機関と顔の見えるつながりを作っておくことの重要性を認識した。



地震への備えで「こうしておけば良かった」という生の声として、「携帯電話の充電器は必需品」、「公用車は常にガソリンを満タンにしておくこと」と繰り返し説明いただいたことが強く印象に残った。

香南市商工会が今年度の認定を目指している経営発達支援計画について、平成29年3月に認定された阿蘇市商工会の推進状況を説明いただいた。伴走型支援補助金を活用して委託調査等を実施する予定だったが、採択されなかったため、ご苦労されているとのこと。

計画を策定するに当たっては、補助金が採択されない場合も想定し、既存制度の活用も見据えたものにしておく必要があると感じた。

阿蘇市一の宮門前町会

前日に現地視察を行った一の宮門前町会の桑島元博会長から、参道の南北の商店や個人を中心に約60人が集まり平成4年に設立した門前町会の四半世紀にわたる取り組みを説明いただいた。特に「町おこしは簡単ではない。汗、知恵を絞ること、

続けること、そして耐えることが肝要。」「先進地など他例を見て気づくこともあるが、まずは地元、足元を見るのが大切。自分の宝をみがきなさい。」「私どもも補助金を活用してきたが、大切なのは後の管理。」という言葉が心に残った。



3 オムロン太陽(大分県別府市)

オムロンの企業理念やオムロン太陽のあゆみをビデオ紹介いただいた後、施設を見学した。

その後、産業機器用のパワーリレーに使用するソケットなどの工程を見学するなかで、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)や改善の取り組みについて説明いただいた。

施設、工程を目の当たりにし、あらためて、事業、商売、仕事を行ううえでの理念の大切さを再認識した。



事業承継、空き店舗対策 調査研究会(中間報告)

今年度の重点項目の事業承継・空き店舗対策について、委員会(委員長:工業部会 幹事 森田訓行氏)を設置して、調査研究を進めています。

空き店舗対策にについては、委員の皆様が身近な空き店舗所有者を訪ねて、実態をお聞きするとともに、詳細調査を行ううえでの課題や空き店舗情報の発信方法等を整理しています。また、不動産会社との連携も今後必要とのご意見が出ています。



一方、事業承継対策については、10月1日に改編設置された高知県事業引継ぎ支援センターとの連携を強化することからはじめています。

パソコン研修会(結果報告)

昨年に引き続き、パソコン研修会(10月:エクセルコース、11月:ワードコース)を実施し、延べ32事業所が受講しました。

各コース3時間×4日間のカリキュラムを熱心に受講いただきました。



香南市商工会館 空調機取替え工事

商工会館 大会議室(2F)の空調機(東側1機)
取替え工事の施工事業所を募集中！！

対象:香南市商工会 会員

締切り:平成29年12月4日(月)午後5時

詳しくはHPを

<http://www.kochi-shokokai.jp/kounan/>

〔広報対策委員会〕

委員長 濱口 節子(夜須町)

委員 宮地 駿作(香我美町)

委員 浅野 照(赤岡町)

委員 森田 俊正(野市町)

委員 山中 正幸(野市町)

広報対策委員会では、広報(年4回発行)に掲載する記事・原稿を募集しております。会員各社のアピールでも構いませんので、是非事務局までご連絡をお願いいたします。